



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2015年5月号

先づきとめいどが出来れば人生は楽になる

自分が欲することを抑えて相手が望むことを満たしていけば、「人生すべてが上手くいく」とどんな本にも書いてあります。「利他」という言葉もあります。しかし、こんなことを書いている私も独立する前はこのような言葉も知らず、自分の利益を優先する行動に犯されていたような気がしています。これを書いている今現在も、頭では分かっているても実践できているかといえはまだ全然できていません。

私達人間はすごい、とても弱い生き物です。なので、先ずは自分のことを最優先にしてしまう生き物なのです。しかし、だからこそこの「利他」という気持ちを意識している人と、していない人では大きな差が出るのではないのでしょうか？

私達は、社会に出る迄は、勉強にしてもスポーツにしても、そして習い事にしても自分の力（スキル）を身につけるために一生懸命に頑張りますし、そのように教育されます。しかし、それでは世の中は上手く渡れません。それでは全く通用しないのです。社会に出てからでさえ、以前の私のように自分のことで一杯一杯の人も多いのではないのでしょうか？

自分のスキルだけで成功するには、その分野で突出した力がないと成功できないのです。それはプロ野球の選手やサッカー選手でも同じでトップの一握りの人だけがうまくいっているのであって、プロに

なっても厳しい生活を強いられている人は山ほどいるのです。美容の世界や飲食の世界もカリスマと言われ成功している人は、ほんの一握りの人たちなのです。ただ、そのような人たちがマスコミ取り上げられ脚光を浴びているので、私たちが憧れるのは当然なのですが、このように職人の世界で、しかも技術だけで成功するのは本当に至難の業なのです。

今まで、夢の無いような話をしましたが、じゃあどうすればいいのか？それは職人の考えを改め商人の発想をしていくことです。職人は自分の技術を高め技術で貢献します。しかし、商人はお客様や取引先が喜ぶことなら何でもします。当然技術にも磨きをかけますが、それはあくまでお客様あつてのことなのです。商人とは人の喜ぶことを常に考える人のことなのです。

とても美味しかったお店が何時の間になくなっていたりします。しかし、まあまあのお店が何十年も続いていたたり、行列が出来ていたりするのも事実です。ここにはどのような差があるのでしょうか？

味だけで勝負しているお店はその分野でトップにならないと生き残れないのです。それが職人の宿命なのです。しかし、商人は技術がトップではなくてもお客様の求めるものを満たし、従業員の求めるものを満たし、取引先を満足させていくことで繁栄し

続けることが出来るのです。

このことは商人に限ったことではありません。サラリーマンであっても同じで、自分のスキルにこだわらる職人的な人は、そのスキルが超一流なら重宝されるでしょうが、それ以外の人はあの人「仕事は出来るんだけどね」とか「頭は良いんだけどね」という評価で終わってしまう事も少なくありません。これとは逆にスキルはそれほどなくても、上司が求めることや部下が求めることをしっかりとサポートしてお客様が求めることを実行できる社員は必ず評価されるはずです。サラリーマンになったら絶対に「〇〇なんだけどね」と言われないようにしないといけないですよ！

ただ、私が言っているのは技術はいらなくとも職人がいけないと言っているわけではありませんので、そこを勘違いしないようにお願いします。

技術を高めることは当然必要なのですが、その技術をどのように使うのが大切なのだということをお伝えしたいのです。

勉強することはとても大事です。しかしそれ以上に大切なのはその知識をどのように使うのか？ということだと思います。それはまさに人のお役に立つためなのではないのでしょうか？そこを意識して日常を過ごすことが大切なのだと思います。そんなに簡単なことではありませんが？先ずは「人のお役に立つ」「先に『える』」ということを意識することから始めたいものです。

やる気相談室

観察する

子育てをしながらも子どもが成長したかな？

ほめて育てると良いなど
よく言われますが、その

前にもっと大事なことがあ
ります。それはよく観察す
ることです。

当然なのですがどこが良
くなったのかわからなかつ
たら褒められませんか！

「でも、どこを褒めてい

いかかわからない。「なんて言っているお母さ
んがとても多いのも事実です。それはとても
残念なことです。

とは言っても、お母さんは何かと忙しいも
のです。仕事も忙しいですし、家事や子育て
も本当に目の回る忙しなものです。今の時代
どんどん便利なものが出来てきているのに
なぜこんなに忙しいのか？本当に困ったも
のです。しかし、そんな弱音も吐いてはいら
れませんか。

ところが、こんなにも忙しい中しっかりと

子育てをして仕事をこなす方もいらっしゃる
ってそのようなお母様には本当に頭の下が
る思いです。

そんな方々に共通しているのはとても観
察力があるということです。

最近、お子さまのどこがどのように成長し
たのか？それが言えなければなりません。人
を育てるのが上手な人は、お母さんでも上司
でも部下やお子さまをとてよく観察して
いるものです。面談の際でも最初はここが出
来ていないあそこが出来ていないというつ

つも、後半ではあそこがこんなに良くなつ
た。ここもこんなに良くなったとしっかりと
観察なさっています。同様に出来る上司も部
下のことはとても詳しくかたりします。

お子さまの小さな成長を認めてあげるこ
とはとても大切なことです。

今、この業界でもそうですがセルフエス
ティーム（自尊心、自己肯定感）をいかにし
て上げるのかという点に取り組んでいる
ところが非常に多くなっています。しか
し、セルフエスティームを上げるためには、

成長を認めてあげることがとても重要な要
素になります。

私は、勉強が出来る出来ない以前に、この
自己肯定感というものを強く持っているか
いないかの方が、生きていく上でとても重要
なことだと考えています。人生そんなにつま
くいくものではありません。むしろほとんど
上手くないことの連続なのです。そのよ
うな環境下でいかに頑張れるのかは、どれだ
け自分を信用しているか（自己肯定感を持っ
ているか）にかかっていると言っても良いで
しょう。

よく観察することで、お子さまの良い面を
どんどん引きだして承認してあげることが
重要だと感じています。また、よく観察する
ことでいろんな長所も見えてくるのではな
いでしょうか？

私の見る限りでは、YESの生徒は皆さん
個性豊かで素晴らしい資質をお持ちだと感
じています。スタッフ一同、一生懸命生徒さ
んの成長を認めていく所存ですので、みんな
でお子さまをサポートしていきます。

書籍紹介 学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話

この本は、勉強が大嫌いで遊んでばかりの学年最下位の女子高校生ギャルが、偏差値を40も上げて慶應義塾大学に合格してしまった、というなんとも凄い実話でベストセラーになった本です。しかし、私はこの本を読んだわけではなく映画を観たのですが、どんな生徒でも見捨てない塾の坪田先生役が伊藤淳史で、この先生の言葉が私にはとても勇気を与える言葉に聞こえました。YESも10年前に開業した時は「勉強がどんなに苦手でも、成績がどんなに悪くても、どんなにやる気がなくても、どんな生徒も見捨てない」という前原の最後の砦という使命感で開業したので本当に嬉しかったです。また、坪田先生が生徒を心底信用している姿や生徒のやる気を引き出す言葉の数々、そして生徒を承認する声掛けなどを見て、人を信じる事って大切だなあと改めて感じました。そして人間の可能性というのは信じることで広がっていくのだと痛感させられました。是非、映画も含めて親子で感動を共有してみてください。私も読むのが楽しみです(^ ^) /

坪田信貴

学年ビリのギャルが
1年で偏差値を40上げて
慶應大学に現役合格した話



角川文庫